

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月25日

事業所名 はんたがわ(放デイ)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1			
	2	職員の配置数は適切である	8	1			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	6	1	床張りはクッションで柔らかい素材です。トイレの床はマットを引いて手すりを付けています。	改善が必要であれば、その都度 利用者のニーズに応えるかたちで対応していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	4			保護者等向け評価表を実施していますが保護者会で意向等を把握し周知して改善に繋がるよう行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	6			会社のホームページで各事業の公開を行っています。職員に周知していきます。又、家族会で報告も行っています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	6			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1			コロナ禍でオンライン研修が増えて、職員に研修の機会を確保して行っています。今後も継続できるように行います。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	5	1	大きな行事活動は児童達が楽しく参加できるようチームで立案しています。	日々の活動は個人での提案が良くあり、参考にしています。職員全体で話し合える場を設けてチームで立案できるように行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1			他事業所とも情報交換を行い、新たな活動も常に模索しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	4	1		その日のリーダーを中心に行っています。児童の様子や行動で必要な時には役割を分担して確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	5	1	打ち合わせが出来ない時は職員が確認するホワイトボードに書き確認等を行っています。	その日の振り返りは送迎時間やシフト時間で全員がその日で共有する事ができない為、翌日になる事もあります。連絡日誌など作成し共有できるように行います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	3				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9					
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9			送迎時に学校での申し送りをしっかり聞いて、下校時間の確認を職員に周知しています。	送迎時に複数の児童対応で学校での細かい申し送りに時間が限られます。学校の連絡帳を保護者の方に了承得て、情報を共有する事を行っていきたく思います。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	7				必要な時は連絡体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	3				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	6				卒業生は少ないですが必要な時はご協力していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	4				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	4			児童館に遊びに行く事はあります。交流会は今後、機会があれば検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		6	3			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	1		送迎時に状況を伝えて、家庭での様子を伺うように行っています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	4	1		相談を受けた時には行っています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	2				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	3			職員には管理者へ報告をする事を周知し、適切に対応を行って支援に繋げています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7	1			毎年、交流の場を設けて保護者会や家族会はを行います。現在は、コロナ禍で開催していません。落ち着いてか開催を検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	2				子供や保護者から苦情があった際は、速やかに管理者に報告し、お詫び、内容確認、対策の検討・実施を本児や家族へ説明、改善を行うよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4	1			保護者会で資料を提供していますがコロナ禍で資料のみを配布を行っています。
	35	個人情報に十分注意している	9					
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1				状況に応じて柔軟に対応できるよう配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	3			機会があれば積極的に検討していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	1			マニュアルを策定し、保管していますが職員には周知していますが保護者さんには時間の場を設け(保護者会等)説明や資料を配布し、周知できるように行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1			避難訓練フローにそって実施しています。保護者会などを通じて訓練内容なども周知していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	2		研修は職員間で共有しています。	事業所での研修を行い、職員が常に意識しながら支援に入れるように行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	6	1		必要なケースがあれば議論していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4	1	現在、対応の児童は1人ですが保護者さんと確認、相談しながら行事の時は本児の食事を提供する事も行っています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	3	1		全員が共有する場を設けて周知していきます。